

ナショナル・ミニマムを考える学習会

講演 「人間らしい生活を求めて」



非正規労働・低賃金・失業、経営不振、低年金など、「生きていけない」状況が広がっています。安倍政権は、さらに、生活保護基準や年金の引き下げ、規制緩和による安上がりな労働形態などをすすめようとしています。

憲法 25 条は「健康で文化的な最低限度の生活」、生存権を保障し、国による社会保障の向上を謳っています。誰もが「人間らしい生活」ができるように「最低生計費」について学ぶ、さらに運動を広げましょう。

講師

かねざわ
金澤 誠一 氏 (佛教大学社会学部教授)



金沢先生は、ほぼ全国で「最低生計費調査」(持ち物財調査、生活実態調査)を実施し、「最低生計費」を算定しています。著書に『最低生計費調査とナショナルミニマム・健康で文化的な生活保障-本の泉社』『福祉・保育現場の貧困(明石書店)』『「現在の貧困」とナショナル・ミニマム』『生活保護基準引き下げは国民生活に何をもたらすか【議会と自治体・03年2月号】』など。

日時 2013年4月27日(土) 午後2時～

場所 佐藤水産文化ホール

資料代 500円

(札幌市中央区北4条西3丁目交洋ビル3F JR札幌駅南口向)

主催 北海道社会保障推進協議会

☎011-758-2648